

5 億 10 億 15 億

## 平成 15 年度一般会計決算グラフ



### 歳入

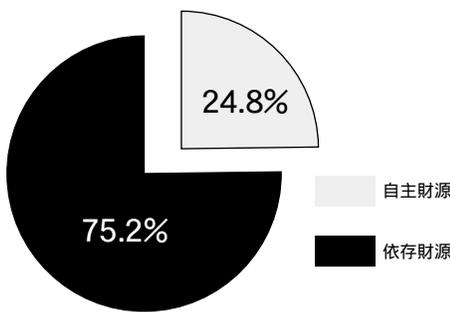
38 億 307 万 285 750 円

### 歳出

37 億 159 万 304 2 円



### 歳入の財源性質割合



5 円、歳出が 6 億 545 万 475 円少ない額になりました。これは、鳥取県西部地震の住宅復興支援などの事業が終了したためです。

国や県に依存する財源  
その割合は 75% を占める

一般会計の歳入内訳は、全体に占める割合の大きいものから見ると、まちの行政規模等に応じて国から交付される地方交付税が 17 億 537 万 8 千円（全体の 45.8%）、事業を行うためにまちが計画的に借り入れる町債が 5 億 243 万 9 千円（全体の 13.7%）、町民税や固定資産税等の町税が 3 億 794 万 6 千 27 円（全体の 9.9%）の

順になっています。

財源別に見ると、まちが自主的に収入にできる自主財源（町税、使用料、諸収入等）が 9 億 517 万 925 円。国や県により定められた金額や割り当てられた金額を収入にする依存財源が 28 億 789 万 931 7 円で、国や県に依存する財源の割合は 75.2% パーセントと、依然高くなっています。

情報システム整備事業など総務費に 7 億 6 千万

歳出は、情報システム整備選挙、広域行政負担、過疎バス、合併対策、全体的な管理事務などに使われた総務費が 7 億 573 万 531 9 円（全体の 20.5%）、町債の返済金の公債費が 6 億 426 万 442 9 円（全体の 17.4%）、福祉や介護、保育所運営などに使われた民生費が 5 億 966 万 359 円（全体の 16.1%）、日野病院の経営負担や保健事業に使われた衛生費が 4 億 926 万 151 円（全体の 13.3%）の順になりました。